

緊急告知

オンライン研修

**全国指導センター
経営指導員研修会**

特別視聴のご案内

東日本大震災後の 「生衛組合の 60 万食の弁当支援」を振り返って ～指導センターのもう一つの役割を考える～

【講師】 尾形 盛幸

(公財)岩手県生活衛生営業指導センター 元専務理事



岩手県奥州市出身。元岩手県職員。平成 21 年 4 月から 5 年間、岩手県指導センター専務理事として勤務。退職後、岩手県国保連で奨学金医師養成事業、現在奥州市医療局で医師養成事業に従事。

今回の研修テーマは、東日本大震災から13年が経過し、地域の関係者における震災に対する意識や教訓の風化が懸念されていた中、本年1月に能登半島地震が発生したこともあり、あらためて岩手県下における当時の生衛組合の取り組みを取りまとめ、関係者でその情報を再確認することをねらいとしています。

講師は、震災当時、岩手県指導センター専務理事として、60 万食の弁当支援について、県庁と組合の橋渡しに貢献された当事者であり、最大の功労者でもあります。いつ、どこに起こるかかわからない大地震や大規模災害に関する岩手県の経験を各指導センター、生衛組合等の関係者にお伝えし、指導センターの災害時における役割を考えます。

大規模災害時の生衛組合の活動を考える上で、今回の講演内容は参考になると考えます。
生衛組合の組合員様、役員、事務局の皆様、是非、ご視聴ください。

・開催日時 **令和 6 年 11 月 27 日(水) 9 時 30 分～10 時 40 分**

・開催方法 **オンライン (ZOOM) 9 時 00 分から入室できます**

・視聴申込み **11 月 25 日(月)夕方までに、**

地元の都道府県センターにメール、電話等でお申込みください

【申し込みに必要な事項】お名前、所属組合、メールアドレス、電話番号、その他

・ZOOM 招待メールの送信

お申し込みをいただければ、都道府県指導センターから、ZOOM 招待メールを送信いたします。

全国生活衛生営業指導センター 電話 03-5777-0341 FAX 03-5777-0342

※全国指導センター直接のお申し込みも受け付けます。kensyubu@seiei.or.jp